

報告者 部会長 ものづくりスペースみんななかま 竹内 仁

日 時 2013年5月1日(水)

場 所 城陽市役所 庁舎内 4階 第5会議室

出席者 就労促進授産支援ネットワーク(1名)、宇治支援学校(2名)、障がい者支援施設あんどびしゃ(1名)、知的障害者デイサービスセンターあっぷ(1名)城陽作業所(1名)、ものづくりスペースみんななかま(3名) オブザーバー 福祉課(1名) 参加者数 9名

欠席者 野の花(1名)

検討課題

1、福祉情勢・就労に関わる情報の共有。2、就労部会と就労促進授産支援ネットワークの役割の明確化、3、2013年度就労部会事業計画、4、福祉事業所フェア実施にむけて

【議事録】

1、 学校説明会

- ・山城北圏域での事業所説明会を実施予定について。

(宇治支援学校7月5日・11日、八幡支援学校7月17日開催予定)

2、 就労部会と就労促進授産支援ネットワークの役割の明確化について

- ・就労部会、①障がいのある人の福祉就労状況の情報共有、②障がい者の福祉就労状況の実態把握、地域の課題を自立支援協議会の部会から市へ提言(聴覚部会では補聴器購入にあたって、地域ニーズに対応した提言を行っている)

- ・就労促進・授産支援ネットワーク、①ネットワークの事業運営に関わる事務、②あんだんての事業運営母体、③城陽市内事業所の授産製品の開発、④市役所ロビー等での授産製品の販売のための企画立案、⑤授産製品の販路拡大の補助。

3、 2013年度、就労部会事業計画について

- ・各事業所から就労の捉え方について意見交流。

- * 企業への出向作業や、一つの事業所では対応できない仕事を事業所同士の連携で対応できる仕組みづくりをやりたい。また、企業に障がい者の働いている姿をみてもらい、直接雇用につなげていくことも考えている。

- * 仕事内容は自主製品メインで取り組んでいる。出向作業等、事業所の外にできる仕事の機会も必要と考えている。

- * 通所している障がい者の実態から、一般就労を目指している方は少ない。仕事内容は自主製品を中心に取り組んでいる。最近では「あんだんて」から製品の注文をいただいた。

- * 事業所内で製品部会を設置し、手づくり製品を購入者に届けることを柱にしつつ、商品開発・大量注文に対応ができるための研究もしている。

- * 出向作業もいいが、地域企業とのパイプをつくれたらと思う。障がい者を積極的に受け入れている企業を把握したい。

- * 実際に企業へ就労ができる方がどのくらいいるのか。障がい者の実態にあわせて無理せず取り組むべきだと思う。

- * 出向作業ができる方がどれくらい各事業所におられるのか、具体的に数字でだしていただけたらと思う。(まずは、職員の視点で候補者をだす)

- * 企業が求める人材を出すという視点も重要だと考える。

- ・就労部会への企業関係者の参加について

- * 理解が深い企業に来てもらうのもいいが、繋がりが浅い企業にも来ていただけたら、企業のリアルな声が聞けるのではないかと。

- * 障がい者の雇用状況については、ハローワークで確認したら把握できると思う。
- * 先ずは、この間、就労部会とも繋がりのある「中小企業家同友会」との連携をとっていったらどうか。「障がい者問題研究会」も設置していると聞いている。
- * 企業からの就労部会への参加については、「中小企業家同友会」と相談。城陽市内で就労部会に参加していない就労関係事業所への働きかけもしていく。

4、 福祉事業所フェアの実施にむけて

- ・ 実施時期について、宇治支援学校の始業式 8 月 26 日。その後 30 日まで半日授業。従って、9 月上旬頃の実施がいいのではないかと。
- ・ 前回の実施の反省点として、学校からの参加が少なかった。進路決定時期も踏まえて実施日を決めた方がいいのではないかと。
- ・ 高等部 2 年生の実習で大体は決めつつあるが、3 年生でも決めていない人もいるし、9 月上旬頃にやる意味はあると考える。
- ・ 福祉事業の種類が複雑、保護者にとってはとても難しい。事業所フェアで理解を深めてもらえばと思う。
- ・ 今回も事業所フェア事務局（城陽市福祉課・宇治支援学校・就労部会長）を設置。事務局から次回の就労部会へ趣旨と内容を提案する。